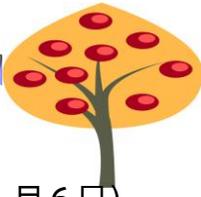


ほほえみ



桑野小学校保健室 (平成29年11月6日)

・ ・ 保護者の皆様へ ・ ・ ・

- 寒暖の差が激しい日がありますので、衣服で体温を調節できるよう、お子さまの服装にご配慮ください。
- お子さまの睡眠時間は十分にとれていますか？就寝時刻がかなり遅いお子さんもいるようです。生活リズムの確認をお願いします。

11月8日は、「いい歯の日です」

今年度の歯科健診の結果から

☆「むし歯が無い人」

・むし歯にかかっている歯が1本も無い人（治療した歯も無い人）…… **桑野小 33.8%**

全国値は、
51.1%

☆「むし歯を治療してある人」

・むし歯を全て治してある人…… **桑野小 15.9%**

全国値は、
24.7%

☆「むし歯を治療していない人」

・むし歯をそのままにしている人…… **桑野小 50.3%**

全国値は、
24.2%

治療率

48.9%

(10月現在)



むし歯が与える悪影響について

◇「乳歯」について◇

乳歯とは、子どものときに生える歯のことです。乳歯が抜けた後には永久歯が生えてきます。子どもの発育や成長において、乳歯の発達は将来の歯の基礎的な機能を築く上で、とても重要な過程になります。

《乳歯の主な役割》

- 1 「食べ物をかみ砕く、かみ切る」 → 栄養素の吸収がよくなります。かむことで、顎が発達し、顔の形も整います。
- 2 「発音」 → 乳歯があることで、正しい舌の位置を覚え、言葉を上手に発音できるようになります。
- 3 「永久歯の誘導（道案内）」 → 生え替りの時期に乳歯の根の部分が吸収され、根の部分が無い状態で自然に抜け落ちます。そして、永久歯が正しい位置に導かれます。（むし歯で乳歯がなくなってしまうと、その道案内ができなくなり、永久歯の歯並びに影響が出ることもあります。）



《乳歯のむし歯を治療しないことの悪影響》

*乳歯のむし歯は、成長途中の子どもの身体に様々な影響が出ます。
「いずれ乳歯は永久歯に生え変わるから」と、むし歯を放置していませんか？

- 1 「偏食になりやすい」 → むし歯により、かむ時に痛みが生じたり、かみにくくなったりすると、偏食につながります。
- 2 「あごが十分に発達しない」 → むし歯によりうまくかめないと、かむ回数の減少により、かむ力、あごの発達を妨げます。
- 3 「むし歯のリスクが高まる」 → むし歯を放置していると、口の中で細菌が増え続け、他の歯がむし歯になるリスクが高くなってしまいます。
- 4 「永久歯の歯並びに影響する」 → むし歯になって早期に乳歯を失い、その両脇の歯が傾いてしまうと、永久歯が生えてくる十分なスペースがなくなり、歯並びが乱れてしまいます。
- 5 「永久歯の発育を妨げます」 → 乳歯のむし歯が進行して、神経が通っている部分に達すると、乳歯の下で育っている永久歯の発育に悪影響を及ぼします。偏食や凹みのある永久歯が生えてくる場合もあります。



『乳歯は永久歯に比べてやわらかく、酸に弱いため、むし歯になりやすいのです。また、エナメル質や象牙質に厚みがなく、むし歯になると一気に進行してしまいます。』
乳歯・永久歯どちらも身体の発育には重要なものです。むし歯の治療が済んでいない人は、早めに受診しましょう。